



第123号
2022年8月23日
西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協 ●発行日/偶数月 ●編集/北六甲台地区社協広報部 ●配布エリア/北六甲台・上山口東



転機を迎えた交流拠点づくり
進め方の抜本的な見直しを摸索
地区社協を中心として三年前からの補助金事業である「共生型地域交流拠点」づくりに取り組んでいます。検討委員会の在り方は？

進め方のリセットを
代表者会議後の検討委員会では、「福寿会等の高齢者分野の委員や自治会派遣委員の不参加のまま、

七月(三日)(水)ふれあい喫茶の場を借りフレイル予防講座を開催しました。市保健所のフレイル対策チームの各専門職、スタッフ計八名から山口地区の検診受診状況(低い!)の説明に始まり、フレイルの説明とセルフチェックによる自身の気づき、そして意識した食事並びに口腔ケアと盛りだくさんでしたが、分かり易く説明して頂きました。



「ふれあい喫茶」コラボのフレイル講座
皆さんそれぞれの気付きを持ち帰り、暮らしに活かされていることでしょう。次回は、十月に場所や時間を再検討して実施予定です。(研修部 本村)



子育てひろばのトライやるウィーク
山中女生徒二名の活動体験
皆さん「トライやるウィーク」をご存知ですか？
中学二年生が地域で職業体験や福祉活動に参加する取り組みです。
今年の五月、子育てひろば「ともだちつくり」で初めてトライやるの生徒さんを受け入れました。来てくれる生徒さん達、不安かも…とにかく楽しんでもらいたいね。とスタッフで話し合いました。
スタッフときぎきぎのお迎え
朝九時半、二人の女生徒さんがやって来ました。笑顔の挨拶がかわい

準備から片付けまで笑顔で参加してくれて、スタッフからは「若いパワーはいいね。本当に助かった。毎月きてほしいわ」との声もありました。後日、届けてくれたお礼ボードには、「また来たいです」との嬉しい言葉も。いつでも来てね。お待ちしております。(子育て支援部 鈴木)

「また来たいです」の感想
準備から片付けまで笑顔で参加してくれて、スタッフからは「若いパワーはいいね。本当に助かった。毎月きてほしいわ」との声もありました。後日、届けてくれたお礼ボードには、「また来たいです」との嬉しい言葉も。いつでも来てね。お待ちしております。(子育て支援部 鈴木)

二年半ぶりに交流会に参加させて頂きました。「お久しぶりです」の方や「初めまして」の方など色々な方とお会いできて、とても楽しかったです。

「自分から進んで・喜んで」
ボランティア交流会に参加して
二年半ぶりに交流会に参加させて頂きました。「お久しぶりです」の方や「初めまして」の方など色々な方とお会いできて、とても楽しかったです。

皆さんのお話しを聞きながら、自分自身もボランティアとは名ばかりで何もお役に立てず、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。家庭を持ち仕事をしていると、中々自分の時間を作り出すことが難しいのですが、そんな中でも自分にできることを見つけて行きたいなと思いました。

毎週木曜日に開催されている「いきいき体操」にも多くの方が参加されており、また、今回新たな取り組みとして開設された「ぬくもりカフェ」で体操された後に本格的なコーヒーを提供して喜んで頂いたと報告がありました。

社協会員会費
今年度の会員会費(ワンハズ募金)の結果は下記の通りです
有難うございました
(速報値)
☆個人会費 174,000円
☆企業会費 91,000円

赤十字募金報告
ご協力ありがとうございました。
募金額 49,500円

善意の日」の市長表彰
毎年六月に「善意の日」といって開催され、地域福祉活動に十年以上従事された方が市長表彰を受けられます。
北六甲台地区社協では次の方が表彰されました。
松山佳代子さん
(上山口四丁目)
中野陽子さん
(北六甲台五丁目)
横瀬道代さん
(上山口二丁目)

既存の地域交流拠点の取材報告

交流拠点「つどい場はまかせ」の思いの強さ

三年前から始まった拠点づくりですが、色々な懸案事項を抱え、中々進捗しない状況下で地区社協として一度振り返り、今後の方向性を見出すために、南部地域の既存の交流拠点を視察し、自分の目で見て確かめることになりました。以下は、地区社協役員四名の拠点視察の感想報告です。



交流拠点「つどい場はまかせ」他訪問

「つどい場はまかせ」の強い思いと支えるメンバーがいたからこそ実現できたとのこと、感心することしきり。今後一歩ずつ前進させて行こうという意欲にもパワーをもらい、私たちもという思いを強くしました。

事務局長 北村啓子

五月にオープンしたばかりの共生型地域交流拠点『つどい場はまかせ』を見学しました。メニューは飲み物と軽食です。コンセプトは「シンプルがいい！また来たいなと思わせるホッとできる「つどい場」です。スタッフのお話では、立上げにはやはり紆余曲折があり、リーダーの「つど

い場」への強い思いと支えるメンバーがいたからこそ実現できたとのこと、感心することしきり。今後一歩ずつ前進させて行こうという意欲にもパワーをもらい、私たちもという思いを強くしました。

執行委員 三橋のん

訪問先の「つどい場はまかせ」の建物を見ての第一印象は「可愛い！」。



大きなガラス窓から中の様子が覗かれます。入口のドアを開けると女性二人に優しい笑顔で迎えて

もらいました。

「どなたでもぶらっと気軽に立ち寄れる、明るい雰囲気、居場所をつくりました」と、リーダーのお話し。彼女は、高齢者に係わるお仕事をしてきた頃、施設での仕事には限界があり、してあげたい事がしてあげられなかったとのこと。その

体験が彼女の原点となって周りの人を巻き込み支えてもらい、障害をひとつひとつ乗り越えながら、三年かけて今年五月にやっとオープンに至りました。「スタッフの皆さん本当に頑張りましたね」と拍手を送りたい気持ちでいっぱいになりました。北六甲台地区にも、このような笑顔と優しい「ぬくもり」を感じられる居場所があればと切に思いました。

執行委員 家元純子

五月に誕生したばかりの南甲子園の「つどい場はまかせ」で、迎えて頂いたスタッフがお若いのにまずビックリ！

元PTA役員繋がりでそう、時には子供たちが可愛いエプロン姿でお手伝い。夏休みには若者男女の楽しい「ミニケイション」の輪がますます広がることでしょう。コーヒーも美味しく軽食メニューも用意されていて、壁には地域の方が持ち寄りられた絵や写真が飾られて、おしゃれでアットホームなカフェという感じです。

利用されている方から、子供向け英会話イベントを開きたいとお声がかかったそうで、早々に地域の方々との絆も築かれているようで頼もしい限りです。

私達も粘り強く小さなところからでもスタートする！という決意を新たにしたい一日でした。

まとめ 広報部 小出晴浩

市社協・中川地区担当から「つどい場はまかせ」を紹介してもらい、私を含め四人で訪問しました。

「つどい場はまかせ」は今年五月にオープンしたばかりの拠点で、地域には六自治会があります。スタッフ三名で立上げ現在は六名となり、日々二名交代で運営されています。三年の準備期間中に地域の方との協議や相談を重ね発足に至りました。今回の訪問で感じることは、地域に皆が触れ合える場所を作りたいと思える強いグループの存在でした。そんな人材の発掘が次のステップに欠かせないということを感じました。

にこにこ丸山カフェ

三年ぶりの認知症カフェの再開！



六月二三日（木）午後一時半、コープ西宮北店、三階集会所で三年ぶりに開催され三十名近い参加者がありました。

開催にあたりボランティア七名と山口地域包括支援センター三名の自己紹介がありました。地域包括から熱中症の注意事項として、高齢者になると喉の渇きに気づくのが遅くなり、早めの水分補給が必要であること、飲料水は一人一日一リットル以上を。カフェイン入りの飲料は利尿作用がある等の説明がありました。

折り紙で紫陽花しるし

その後、ボランティアさんからたんだ色紙が参加者へ配られました。この紙は紫陽花の花を作るための仕掛けです。花を作る方法を教えて頂き、作り始めたので、会場は一瞬静まりかえりました。花ができ上がる飾り付けです。スタンドをもらいカードを付けたに飾り完成です。

最後はカードゲームで締め

最後にカードゲームを行いました。遊び方は、ボランティアさんが準備したカードを参加者が二枚ずつ引きます。司会者が動物の名前を告げて、その動物が自分を持っていくカードがあればそのカードを捨てます。そして早く二枚のカードが無くなれば、参加者作成の机の花飾りがもらえます。

ボランティアさんの声

この山口地区初めての認知症カフェ「にこにこ丸山カフェ」は二〇一八

年にオープンしました。途中二年間は新型コロナウイルスの拡大に伴い、中止を余儀なくされ、これからという時に中止となり、皆さんに認知される機会を逃がした感じがしています。

この会を長く運営するために多くの方に参加して頂きたいと思えます。

(広報部 西口)

「日本料理・ウタ」を会場に再出発



第六十回ちよい呑みオヤジ会が六月三日（木）に北六甲台一丁目の「日本料理・川久」で一四名の参加で開催されました。「花こぼし」の閉店に伴



ボランティアの皆さん

い会場を「川久」に移しての再出発でした。

ちよい呑みオヤジ会は北六甲台と上山口在住の男性対象の懇親目的の呑み会です。オヤジたちの地域交流の拠点として地域や地域活動の情報提供や意見交換をしながら美味しい料理を食べ呑み交わす楽しい会です。

冒頭に世話人から、①認知症カフェの再開②北六甲台の盆踊りと文化祭の三年ぶりの復活計画などの報告がありました。続いてオヤジ会・会員のあすなろクリニック院長の岡崎賢治先生から「在宅医療とコロナ感染

の現状」と題して特別報告を頂きました。看取り後の残された方の心のケアが大事であるとお話になり、他人事ではないと聞き入りました。また、四回目のワクチン接種は感染予防というより重症化予防の効果が期待できるとのことでした。

報告の後は、川久さんの美味しい「会席弁当」と銘酒の呑み放題の会食懇親です。

参加者の近況報告では、皆さんから、ウオーキングや楽器演奏、カラオケや執筆活動等、様々な活動が報告されました。長引くコロナ禍でフレイル（心身の虚弱化）の心配が増しています。フレイル予防のためにも地域のオヤジたちの集い場で多様な交流はいいかでしょうか。

「ちよい呑みオヤジ会」は毎月第四木曜日の一八時から「川久」で開催しています。ご参加をお待ちしています。申込み・お問い合わせは次の通りです。〇九〇-九八七八-六三三六（日高まで）

(社協役員 岡部文夫)